

【補助事業概要の広報資料】

整理」番号 25-57  
補助事業名 平成25年度 産業技術重点分野活力付与 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人研究産業・産業技術振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

我が国産業技術再活性化の要となる技術分野において、技術ニーズ・シーズ及びノウハウの情報を基に新たな先導技術を探索するため、主として独立行政法人等の研究者を講師とする先導技術交流会を開催し、将来像と分析して新産業技術分野の創出を図ると共に、共同研究などの促進を図る。

(2) 実施内容

① 先導技術交流会

ア. 先導技術研究会

グリーンイノベーション、ライフイノベーションにおける技術課題のうち、企業の研究開発を先導的に牽引すると予想されるテーマを抽出し、講演会等の会合を通じて産学官にわたる情報共有を推進するとともに、研究会において異業種横断的な視点から、我が国の産業展開への新技術分野の現況の分析と考察を行った。

イ. 先進医療機器技術専門研究会

ライフイノベーションを進める医療分野については、我が国先進医療機器の競争力強化が喫緊の課題だが、産学官の連携においてこれを解決していくことが求められている。これまで、医療現場と機器開発の技術者間の交流の場の設定が不十分であったとの反省から、本年度も先進医療機器技術専門研究会を設置し、東京電機大学土肥健純教授を委員長として研究会活動を進めた。



2 予想される事業実施効果

「先導技術交流会」で企画された講演会では、産総研等独立行政法人や大学、国公立

研究機関が開発した多数の有望な技術テーマ及びノウハウの情報をいち早く産業界に提供し、技術シーズの早期実用化を促すため、先導的技術分野で産業界が希望する技術の現状と課題を分野毎に紹介した。また、適宜企業の研究開発に携わる方々にもお話しをいただいた。

「先導技術研究会」では政府が力を入れているグリーンイノベーション分野、ライフイノベーション分野を中心に、最近関心の高いインフラの構造ヘルスマニタリング、海底資源探査技術、ロボット技術を織り込み、技術の現状と可能、事業化における課題等の議論を進めた。また、「先進医療機器技術研究会」では、治療機器を中心として取り上げ、個々の事例をもとに、治療機器分野での事業化における課題について研究会で活発に議論を進めた。

この結果、事業の実施効果としては、①他企業・機関、あるいは産業全体に関する先導的技術の動向と課題に関する情報共有の促進、② 共通課題に対する相互のディスカッション機会の提供、③研究会活動を通じた人脈の広がり、がある。

特に、近年、グローバルな競争の激化に伴い我が国の企業においても短期的な取り組みを重視せざるを得ない状況が生じ、長期的視点での技術開発への取り組みが弱体化している中、産総研、大学などの公的研究機関の先導的な研究成果を企業において実用化へと結びつけることの重要性が指摘されているが、本事業の実施により、我が国における重層的なイノベーションシステム構築に結びつくと期待される。

### 3 補助事業に係る成果物

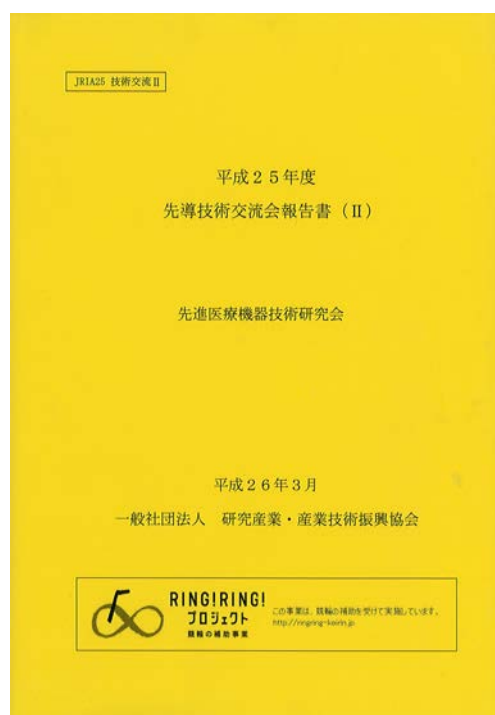
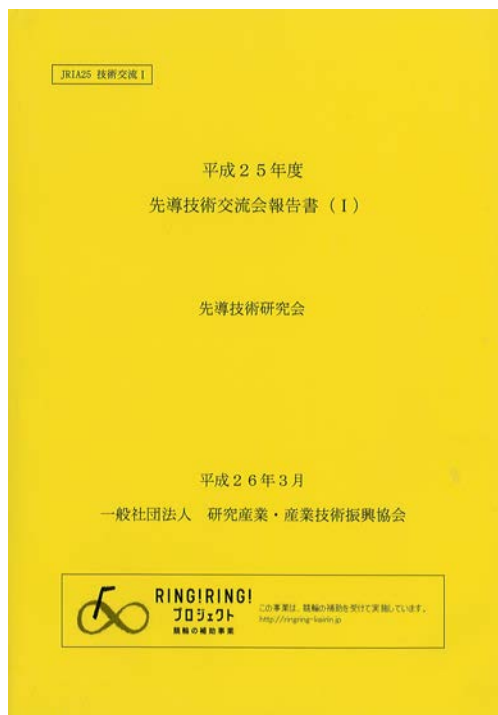
#### (1) 補助事業により作成したもの

##### 1. JRIA 平成25年度先導技術交流会 シンポジウム 要旨集



2. [平成25年度先導技術交流会報告書（Ⅰ）](#)

[平成25年度先導技術交流会報告書（Ⅱ）](#)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人研究産業・産業技術振興協会（ケンキュウサンギョウ・サンギョウギョツシンコウキョウカイ）

住所： 113-0033

東京都文京区本郷 3-23-1 クロセビア本郷 2F

代表者： 会長 伊藤 源嗣（イトウ モトツグ）

担当部署： 企画交流部（キカクコウリュウブ）

担当者名： 小林 一雄（コバヤシ カズオ）

電話番号： 03-3868-0826

FAX： 03-5684-6340

E-mail： [jria1@jria.or.jp](mailto:jria1@jria.or.jp)

URL： <http://www.jria.or.jp>